

1 研究主題

豊かなコミュニケーション能力を 育てる英語活動

～自己表現をする場面設定の工夫を通して～

他教科や行事に関連付けた
単元構成と年間計画の作成を軸に

弘前大学教育学部附属小学校

岩渕淑子・吉谷瑞穂

2 研究の目的

★ **主題設定の理由** 自分の思いを表現することが苦手な子供が多い実態から、必要感をもって思わず自分の思いを伝えたいくなるような場面設定の工夫をして、豊かなコミュニケーション能力を育てる

★ **目指す子供の姿**
「豊かなコミュニケーション能力」とは？（本研究部のとらえ）
子供が人まねでない自分の考えをもち表現したり、いろいろな人と積極的にかかわりながら、協調性をもって相手を受容したりできる能力

★ **研究仮説** 他教科や行事と関連させた単元構成を工夫し、自己表現の場面設定を工夫することで、相手や目的に応じた自己表現を工夫し積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童を育てることができ、豊かなコミュニケーション能力を身につけさせることができる。

未来を生きぬく子ども

いろいろな人と積極的に関わり
協調性をもち相手を受容できる子ども

豊かなコミュニケーション能力

思考力

判断力

表現力

よく考え豊かに表現できる子ども

自分の考え・思いを明確にし、よく伝えるために考え工夫する力

いろいろな人と関わり表現や関わり方を決定し実践する力

身につけた知識・技能を活用しながら、言語や非言語を駆使して相手に伝えようとする力

コミュニケーション能力の素地

英語活動（言語）への関心・意欲の向上

コミュニケーションの楽しさ
自己表現の場の設定の工夫・異文化理解

目を見てはっきり質問する表情・声の工夫
ジェスチャー
積極性

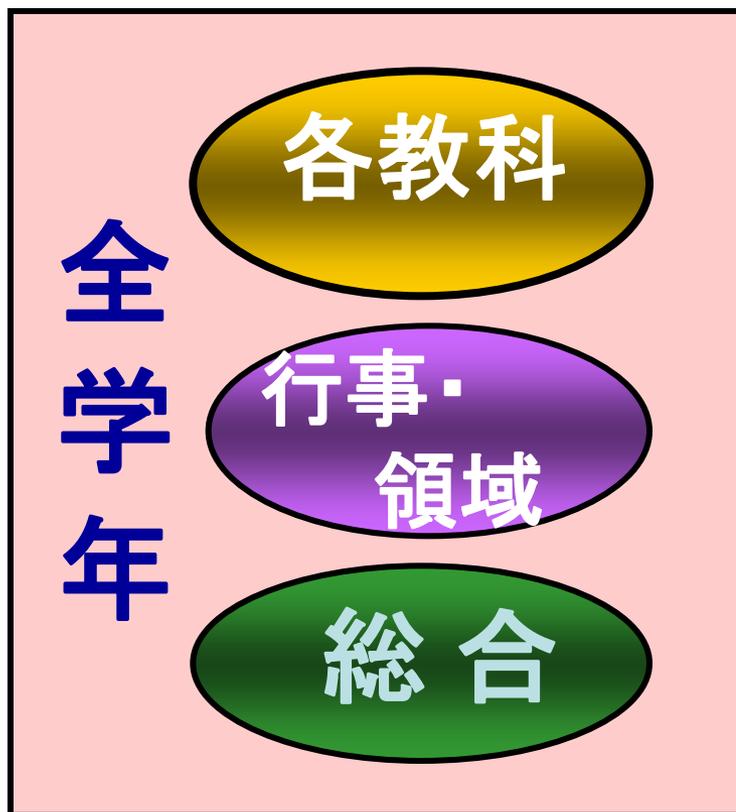
うなずくお礼を言う
ほめる
聞き返す
確かめる

発信（自分の考えをもつ）

受容（違いを認め合う）

3 研究内容と具体的な手立て

①自分の思いをもち進んで自己表現させるための単元構成や場面設定の工夫



自分の思いを表現せずには
いられないような仕掛けをくむ

他教科や行事にリンクした
題材の開発

各学年の発達段階や
興味・関心によりそって

② 相手意識や目的意識をもたせた コミュニケーション活動の工夫

ペア活動・グループ活動・個人・全体のやり
とりの目的を明確にする

だれに

どんな形態で

何のために(最終ゴール)

- ・友達・上級生
- ・下級生・先生
- ・家族・地域の人
- ・他県の人
- ・外国人

・一人で・ペアで・グループで

・絵や創作物を作る・ジェスチャー・表情
を駆使する・ペア練習で覚えた英語を
使って問答する・ゲームをしながら表
現に慣れる・チャンツで繰り返す・異文
化に触れ気づきを話す・自分と比べ
る・グループで協力して話し合う・製作
する

自分の思い
を思わず伝
えたい魅
力ある活動
とは？

実践例1 How to make pancakes. (5 学年) パンケーキおすすめレシピ

リンク教科: 家庭科

だれに? 外国人のゲストティーチャーに

何のために? 相手の好みのパンケーキを作っていっしょに会食するために

場面設定と単元構成の工夫 インタビュータイムで食べ物の好みを尋ねたり、パンケーキのレシピをグループで話し合い即興的に提案したりする場面

第1時 材料や道具や調理方法の表現を知る 3 ヒントゲームで慣れる

第2時 自分の好きなパンケーキを考え、友達に紹介する
(味・材料・順序)

第3時・4時 グループで外国の方へのおすすめパンケーキを考える

第5時 インタビューしたことを元に、相手の好みのトッピングや生地を選び話し合って紹介する

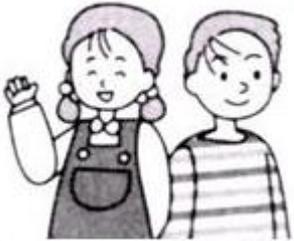
コミュニケーションの場面設定

相手や目的を意識した

- ・インタビュー
- ・話し合い活動
- ・自己表現



・相手の思いを受けた
おすすめレシピの紹介
(観察)



【授業前の子ども】

相手の思いを受けて
自分の考えや思いを
表現するのが苦手な
子供

思考・判断・表現

インタビュータイム
グループでの話し合いの場面
おすすめレシピ紹介の場面

【授業後の子ども像】

相手や場面に応じ
て工夫して表現し、
進んでコミュニ
ケーションを図る
子供

第1, 2時

- ・材料や道具や調理方法の名前の言い方を知る。
flour, egg, water, sugar, butter, cream, milk, bowl, fryingpan, ladle, cuttingboard, cup, knife, put, whisk, pour, cut, mix, bake
- ・これは～です, ～を入れます 混ぜます, 焼きますの言い方や調理器具を表す言い方を知る。
- ・3 hints ゲームを楽しむ。
- ① colour(色)
- ② This is ～. (材料)
- ③ stir, mix, bake, boil, fry (調理法)
- ・自分が好きな味やトッピングを使ったパンケーキを考えて絵で描く。
- ・ペアで発表練習する。
This is my pancake.
This is ~taste.
順番 1 2 3
- ・質問し合う。

第3, 4時

- ・グループで外国人のゲストティーチャーの好みを聞くインタビューを考え練習する。
- ・What taste (sweet /not sweet) do you like ?
- ・Do you like 野菜・果物・味?
- ・グループで外国の方におすすめのパンケーキを提案するためのレシピを考える。
- ・外国の料理について話してもらい交流する。
- ・世界の料理の様子を知り似ているところや違うところを知る。

どんなパンケーキができるかな。
自分も作ってみたいな

世界にはいろいろな料理があるんだな

うれしいな
もっと話してみたいな

第5時(本時)

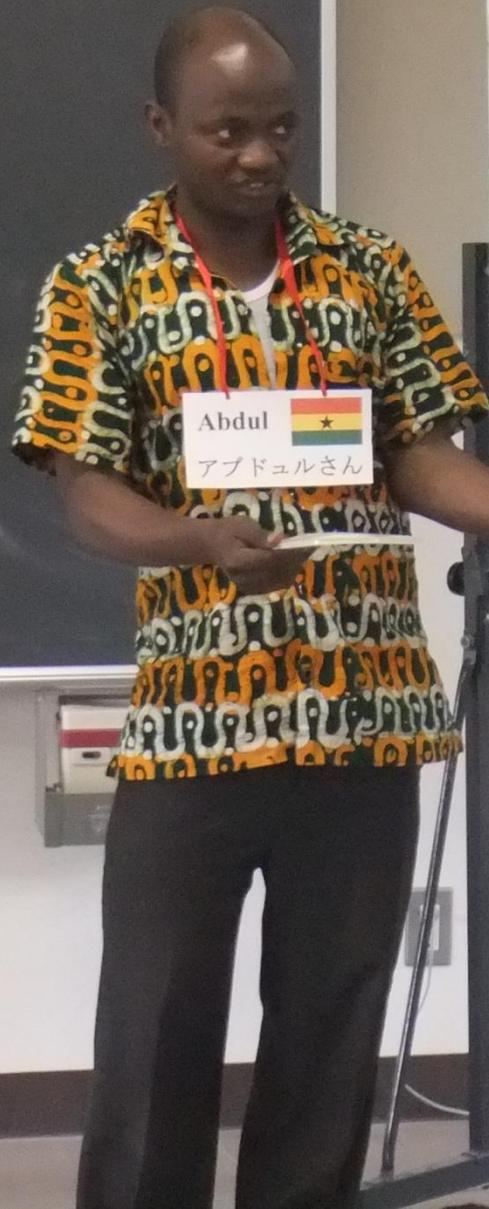
- ・外国人のゲストティーチャーの自慢料理のレシピを開きとりレシピ表を完成させる。
- ・グループで外国人のゲストティーチャーの好き嫌いをインタビューし、グループでトッピングや生地を選び話し合い、簡単に紹介する。
This is 料理名。
This is トッピング。
- ・料理の順番を動作も交えて説明する。
- ・外国人のゲストティーチャーの感想を聞く。

好きなトッピングは何だろう。

おすすめを考えて一緒に食べたいな。

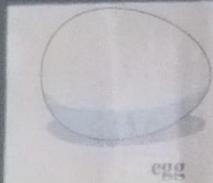
“How to make pancakes.” ～パンケーキおすすめレシピ～

う。(にている所、ちがう所を見つけよう)

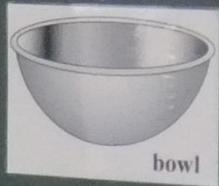


作り方

① 1st



in



② 2nd



& make



heat

③ ト
④ 打



ガーナの国旗をかたどった パンケーキ



実践例 2 (3 学年)

Where is the cake shop?

お助けマップに変身

リンク教科: 社会科

だれに? 外国人のゲストティーチャーに

何のために? 相手の国や好みに応じて作り直した町探検の絵地図をプレゼントするために

場面設定と単元構成の工夫 社会科の町探検で作った絵地図をもとに相手の行きたいところを尋ねて道案内をしたり相手の国にあったようなお助けマップに作り直したりする活動。また相手の国の地図記号を教えてもらいながら交流する。

第 1 時 道案内や建物の言い方を知り既成の地図で道案内し合う。

第 2 ・ 3 ・ 4 時 町探検で調べた建物の言い方を使いながら地図を作る・友達と道案内し合う。

相手の好みを受けて友達と道案内し合う。

第 5 時 相手の好みを尋ね、目的地へ道案内し合う。
相手の国に合った地図記号に置き換え、お助けマップを完成させる。



- ・相手の好みを受けた道案内
- ・相手に合わせて地図を作り換える活動

- ・道案内の様子
- ・お助けマップ作りの様子(観察)



【授業前の子ども】

相手の話を受けて会話を
するのが苦手な子供

思考・判断・表現

- ・相手の好みを受けて、目的地
へ案内する
- ・お助けマップを完成させる

【授業後の子ども】

自分の経験をいかにして、相
手の話を受けて会話を広
げていく子供

○第1時

- ・“Go straight.” “Turn ～.”などの言い方や建物の名前などに慣れ親しみ、友達と道案内し合う。(ペア活動)

☆Go straight / Turn right(left) / Go back / Stop / Where do you want to go?

bank, restaurant, school, park, fire station, hospital, barbershop, police box, bookstore, department store, flower shop, post office, coffee shop, supermarket, train station

「英語でも道案内ができるんだ。
おもしろいな。」



もしかしたら、町探検の
地図でもできるかも！

○第2・3・4時

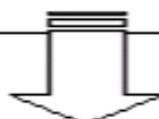
- ・社会科の町探検で見つけた建物の言い方を使いながら、地図を作る。
- ・相手の好みを受けて、友達と道案内し合う。(ペア活動・グループ活動)

☆第1時の表現

☆Once more please / O.K. / Look right and left / Let's go / What's that symbol?

This is ～ / Thank you / You're welcome / Do you like it? / This is ～ map for you.
cake shop, drug store, laundry, a beef bowl shop, bus stop, stationery shop,
a box lunch shop

「町探検の地図でも道案内が
できたぞ！」



外国の人にも試してみたい
いな……。

○第5時 (本時)

- ・相手の好みを尋ね、目的地へ道案内する。(グループ活動)
- ・相手の国に合った地図記号に置きかえ、お助けマップを完成させる。(グループ活動)

第4時までの表現

外国の人に通じたぞ！
やった！



世界にはこんな地図記号があ
るんだなあ。

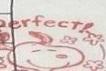
いろいろな人とコミュニケーションを図ると、

- ・相手の考えや思いが分かる！
- ・人と人とのつながりが見えてくる！
- ・自分も集団の一員であることを実感できる！

Where is the cake shop? ~お助けマップに变身!

名前 かけたの さえか

二	おぼえた言い方をつかって、いろいろな人とかわかることができた。	道案内や建物の言い方をつかって話したり聞いたりすることができた。	えい語を勉強して、発見したことや新たに考えたことがあった。	ひとこと (分かったこと・発見したこと・むずかしかったことなど)
1/26 (水)	0 1 2 3 4 5 ④	0 1 2 3 4 5 ⑤	0 1 2 3 4 5 ③	いろいろたつとわかんなくなりました。←たてえばどんなよこ?
7/3 (土)	0 1 2 3 4 5 ④	0 1 2 3 4 5 ⑤	0 1 2 3 4 5 ②	社会のとき、町たんけんしたときおもしろい道あんないをしたとき、木は、行かないけどみんなとべんぎょうができてよかったです。
7/10 (水)	0 1 2 3 4 5 ⑤	0 1 2 3 4 5 ⑤	0 1 2 3 4 5 ③	今日は、まえより、町のことかわかったのてよかったです。 言い方もどんどんおぼえていこう!!
7/17 (水)	0 1 2 3 4 5 ⑤	0 1 2 3 4 5 ⑤	0 1 2 3 4 5 ②	「いそにいくの」とか「つづにいきたい」とかしてむずかしかったけれど、かい言葉は、できてよかったです。 会話ができればOKなんだよ!! 大きな声で
7/26 (金)	0 1 2 3 4 5 ④	0 1 2 3 4 5 ⑤	0 1 2 3 4 5 ⑤	はいめで、ううう先生にあって、むずかしかったけれど、いそいそつづいてよかったです。 ゆうびんきょくの言記号があがってよかったです。 つづいて楽しいし、相手の考えもよく分かるよね!!



【友達からのお助けカード】

よかったこと
言い方がわかりやすかった。
たろろ

あるかったこと
声か小さかった。
たろろ

さえかさんは、いそいそ
の歌で楽しくおど
ていたのて、楽しくおど
たろろ

さいごの局で、おど
が上手だったよ。
またがムぼってな
きる海

道あんないが、ちゃん
と、できなかつたね。
いそいそ道あんないがム
は、らう!
こぼ

いそいそ
いそいそ
とできてたね。
たろろ

さえかさん
声か小さかったから
ちゅと声を大きくした
OK ミとより

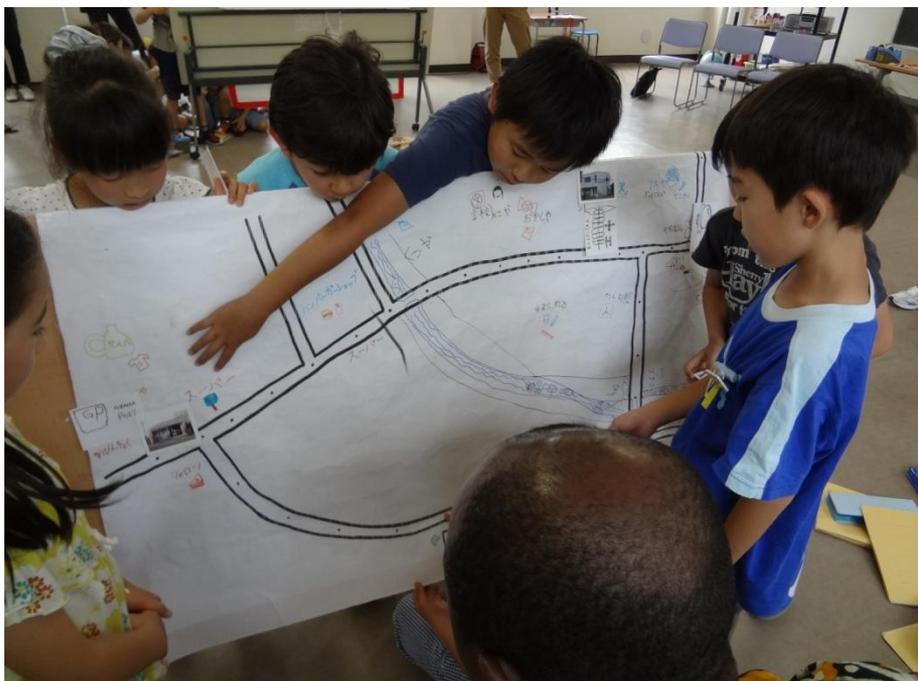
さえかさん
町あんないのとき
いそいそいそいそいそ
いそいそいそいそ
さよより

町あんないのとき
すんでいそいそいそ
いそいそいそいそ



いろいろたつとわかんなくなりました。←たてえばどんなよこ?

絵地図で説明・贈呈



その他の実践 教科や行事とリンク

- 3年 That's my number数を使って紹介しよう
- (算数・たしざん「自分の事発表会」を開く)
- 5年 Where do you want to go?青森県の良さを伝えよう
(総合・名所を紹介する)
- 6年 おすすめの秋を紹介しよう(行事)
- 夏休みの計画を立てよう
- (時刻・曜日・日課・部活動・旅行の予定など発表)
- 1・2・3年冬を楽しもう クリスマス・お正月・節分(行事)
- 生活科体育できるようになったことの発表・
- 昔の遊び, 昔の道具紹介(社会)
- 全学年ハロウィーン異学年交流学習 など
- 他に国語 劇 2年何を食べてきたの 理科 昆虫・動物

算数 That's my number



総合的な学習 青森県の良さを伝えよう



成果

各学年の教科・行事等発達段階に応じた題材と関連づけたことで、

①教科や行事の特質を活かして思いを伝える方法(実演や調べ学習、
で得た情報、絵やジェスチャーなど)を用いて積極的に自己表現する
姿が見られた。

②教科の実体験を伴う活動は、子供が目的意識を明確にもって取り
組みやすい。英語を話すことへの抵抗が低くなる。英語を覚えたい・
使いたいという意欲をもって学習する姿が見られた。

インフォメーションギャップを取り入れ、新しい情報を再構成して相手
に伝える場面設定を工夫したことで、

①もっとよく相手を知ろうと質問を考えたり、聞きながら自分のもつ情
報を比較して違いを見いだしたりしようとする姿が見られた。

(聞き返し・確認・賞賛など)

②知り得た情報をグループで共有し話し合い、友達同士の意見交換
や相互評価を行うことができ、良さや自分の改善点に気づき、ふりか
えりができた。

ゴールを明確にした単元構成を工夫したことで、

①相手意識や目的意識をもって相手に伝えようと話す、または相手を理解しようとして一生懸命に聞きとろうとする姿が見られた。

②相手に喜んでもらえるように活動するので、思いやる態度の育成や協働作業による達成感につながった。

今後の課題

各学年の教科や行事など発達段階に応じた題材と関連付けることに関して、

①他教科との合科的な取り組みは、いろいろな教科や場面の開拓の余地がある。時間の確保や年間計画の見直しを図り、学年に応じた無理のない語彙の選定が必要である。

②中学校との連携、文字指導をいかに無理なく進めるか、特に6年生での指導法を吟味し検討していく必要がある。

ペア学習やグループ学習の在り方に関して、

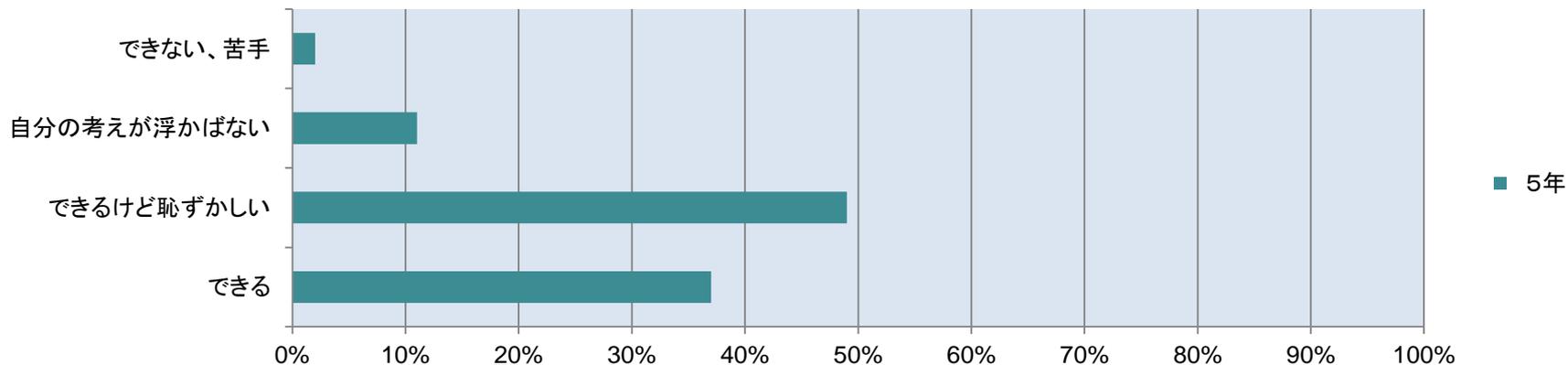
- ①グループで行う際に、役割分担をするが、コミュニケーションを得意とする限られた子供に頼りがちになる傾向がある。
- ②慣れさせるための練習や問答など活動に応じた形態の工夫が必要である。臨機応変に自分の思いを表出できる場面設定の工夫や役割分担を指導者は考えて活動させなければならない。

ICTやALTの活用に関して

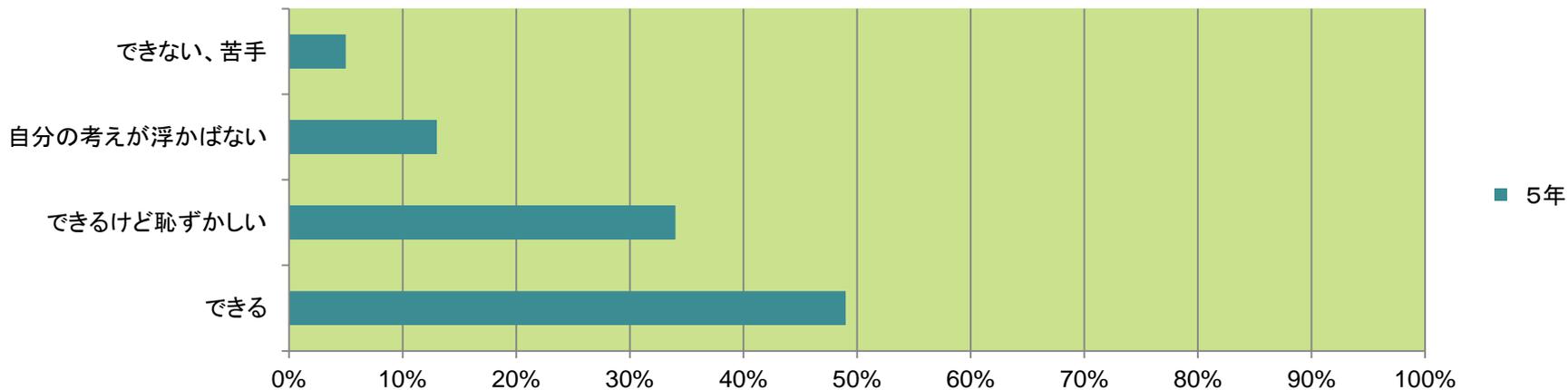
ネイティブの音声を多くインプットしていきたいが、ALTが常駐でなく他の留学生センターなどに依頼しても、年に数時間しかふれあうことができない。電子黒板の利用はしているが、低学年や中学年にあった教材の開発も必要である。

アンケート項目1 自分の考えをもって発表したか

H 25年度 5年



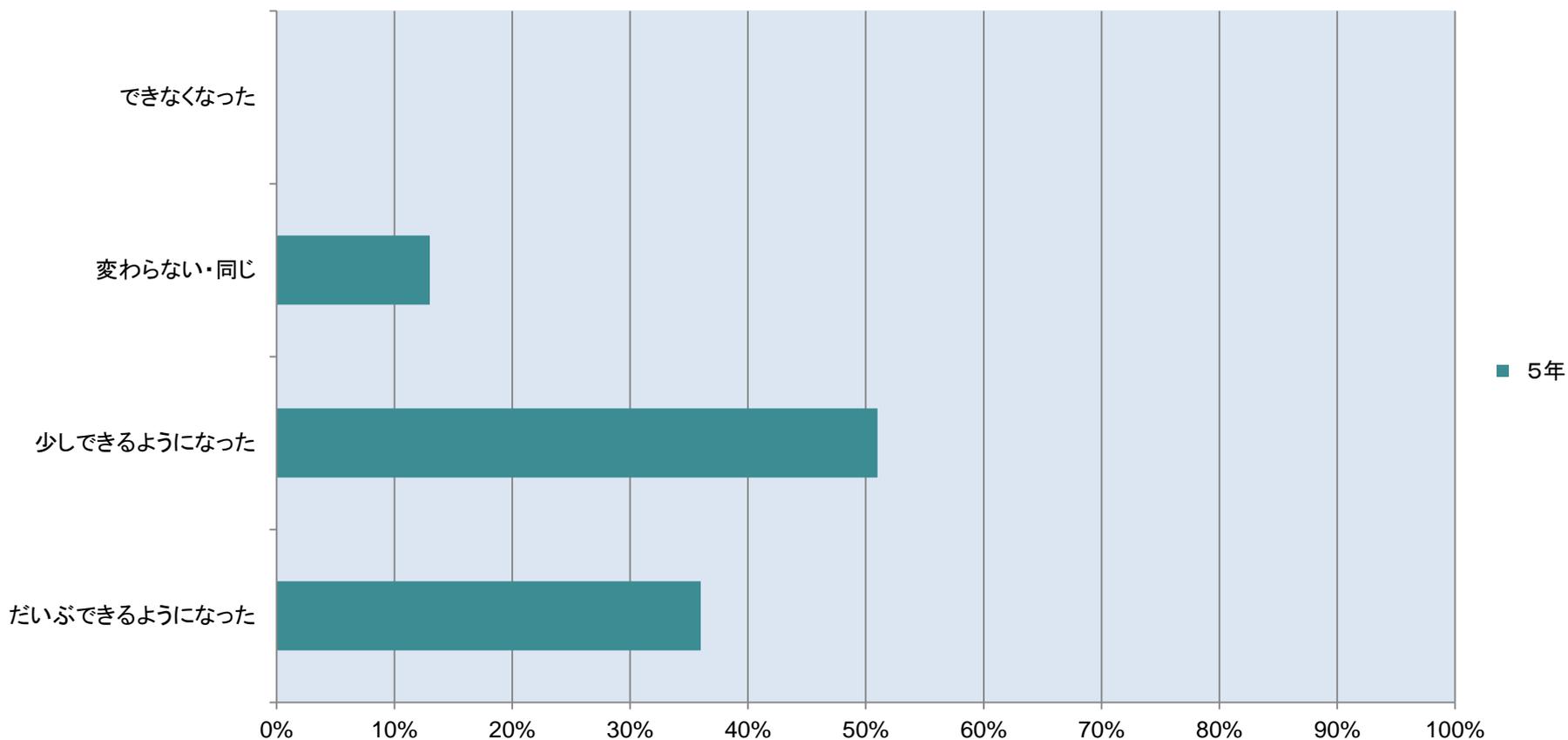
H24年度 5年



アンケート項目2

進んでやりとりできるようになったか

H25年度 5年



終わりに

◆ 評価方法の吟味

◆ 指導技術の共同研究